科目名	歴史Ⅰ History Ⅰ			担当教員	與田　純		
学　年	１年	学　期	通年	履修条件	必修	単位数	２
分　野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120003	単位区分	履修単位
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質及び人類の課題を広い視野から多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 また、学習教育目標である「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を、授業を通して培っていく。						
進め方	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み解くことを通じて思考力を養い、音楽・映像教材などを用いて授業の理解を深めてもらう。						

学習内容	学習項目（時間数）	学習到達目標
	１．大航海時代と世界の一体化(15) (1) 大航海時代以前の東西交流 (2) スペイン・ポルトガルの海外進出 (3) 新大陸の古代文明 (4) 新大陸の植民地化 ［前期中間試験］(2)	ヨーロッパ世界の飛躍の契機である大航海時代と新大陸の植民地化の原因と概要を理解し、現代世界への影響を説明できる。大航海時代以前の東西交流の概要を理解できている。 学習・教育目標：(A)
	２．宗教改革と主権国家の生成（15） (1) ドイツ宗教改革 (2) イギリス宗教改革 (3) オランダ独立戦争 (4) エリザベス時代のイギリス 前期末試験	ヨーロッパ各国の宗教改革の原因と意義、また宗教戦争を経て強力な主権国家が形成されてくる様子を理解できている。 学習・教育目標：(A)
	３．世界商業とイギリス革命(15) (1) 北米植民地の建設 (2) オランダの覇権 (3) ピューリタン革命 (4) 名誉革命 ［後期中間試験］(2)	オランダを筆頭とするヨーロッパ諸国によって世界商業の仕組みが形成される経緯を理解できている。イギリスにおける議会政治の発達と、王権との確執の概要を説明できる。 学習・教育目標：(A)
	４．大英帝国の形成(15) (1) グレートブリテン王国の成立 (2) 産業革命の進展 (3) 工業化の明暗と社会主義思想の誕生 (4) 大英帝国の形成 後期末試験	複合国家「イギリス」の成り立ちを理解できている。イギリスの産業革命の概要と技術史的な意義、それが引き起こした様々な社会問題を説明できる。 学習・教育目標：(A)
	試験返却(1)	

評価方法	・評価の内訳は、発表点と小テスト等を 10%程度、定期試験結果を 90%程度とする。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは，１.～４.のそれぞれについて 25%，25%，25%，25%とする。
履修要件	特になし
関連科目	歴史Ⅰ（1 年）　→　歴史Ⅱ（2 年）　→　人文科学Ⅲ（4 年）
教　材	教科書：北村正義編『新編　世界の歴史』（学術図書出版）資料集：『世界史タペストリー』（帝国書院）ワークノート：『世界史トレーニングノート』（山川出版）。その他、参考図書を随時紹介する。
備　考	・単位追認試験は次年度の９月（前期範囲）と１月（後期範囲）に実施する。